

あなたの可能性が、**さき**を拓く
自分づくりを認める教育

学用品費（制服）の保護者負担軽減策及び 学校徴収金に係る現状報告について 【令和8年度 第1回総合教育会議】



教育委員会事務局 学校教育課・学事企画課

1.学用品費（制服）の保護者負担軽減策についての資料構成

1-1. R7第1回で議論した内容の振り返り

1-2. その後の検討・実施状況

1-3. 保護者負担額調査

1-4. 会議開催状況

1-5. 今後の進め方



1-1. R7第1回で議論した内容の振り返り

今後の制服等の保護者負担軽減に向けた検討



昨今の物価高騰により
保護者負担の軽減を!

今どきの
使いやすい物がいいな!



○学校が定めた指定品でないといけないの？

① 制服、シャツ・ポロシャツ

- (例)・制服の外観や仕様を市内統一にして安価な制服の採用
・指定品以外でも仕様がほぼ同一の市販品も可
(白の襟付きシャツ・ポロシャツ)
・早く乾く素材、肌触りの良い素材の市販品も可

② 上履き・体育館シューズ

- (例)・指定品以外でも形や色等、仕様がほぼ同一の市販品も可

③ 通学かばん

- (例)・指定品以外でも自分の体に合ったもの、持ちやすいもの等、
華美とならない安価なものも可

※保護者負担軽減策を検討

特に中学校入学時には制服代を含めると
かなりの保護者負担となる

⇒保護者負担額の現状把握【調査】

⇒教育委員会と校長会との負担軽減に
向けた会議体の設置

(神戸市の標準服など他都市の取組を参考)



1-2. その後の検討・実施状況

- 1 保護者負担額調査を実施（令和8年1月）
- 2 教育委員会と校長会との負担軽減に向けた会議体の設置
（塚口中学校長、武庫中学校長、学事企画課、学校教育課）
 - ①上記 1 調査に基づく現状共有
 - ・ 指定品目の見直し状況
 - ・ リユース、リサイクルの取組
 - ・ 価格情報の透明化（比較しやすい情報提供）
 - ②課題事項や好事例の抽出

1-3-(1). アンケート調査結果（要約版）

学校ごとに制服等の総額・男女差に幅が見られる一方、指定品の見直しや自由化による負担軽減の例もあり、各校の取組を市全体で共有・活用することが重要。

【制服等に係る価格差の状況】

項目	内容
対象校数	市立中学校 17校
男子総額	73,590円～95,970円
女子総額	77,090円～112,165円
男女同額	2校
男女差最大	20,600円
男女差最少	0円

【負担軽減の例】

- ・通学カバンの自由化
- ・シャツ、リボン等を指定外とする

【主な論点】

○学校の価格格差

物価高騰が続く中、保護者負担を市全体で抑えていくために、どのような方策が考えられるか。

○男女格差（ジェンダー観点）

各校それぞれの事情を踏まえつつ、男女差を縮める工夫にどのようなものがあるか、知見を持ち寄れないか。

○各校で進む見直しの取組

各校の取組の目的は市の方針と一致。知見を市全体でどう共有・活用するか。

1-3-(2). アンケート調査結果（表）

	学用品等総合計		男子制服合計	女子制服合計	制服の内訳												通学 カバン	その他学用 品(靴なし)	備考・特記事項（論点）
	男子合計	女子合計			男 冬ブレザー	男 冬スラックス	男 冬長シャツ	男 ネクタイ	男 夏スラックス	男 夏半袖シャツ	女 冬ブレザー	女 冬スカート	女 冬長袖シャツ	女 リボン等	女 夏スカート	女 夏半シャツ			
1	88,115	86,815	64,200	62,900	25,300	13,950	4,700	2,500	13,250	4,500	24,150	15,200	4,600	なし	14,450	4,500	7,000	16,915	男子の方が高い。ジャージが非常に安価(4,000円台)
2	80,610	94,110	53,600	67,100	21,600	11,400	3,200	2,200	10,800	4,400	19,900	19,700	3,000	1,800	18,300	4,400	7,800	19,210	女子スカートが高額で、男女差が大きい
3	84,433	84,733	57,800	58,100	24,000	12,900	3,200	2,300	12,300	3,100	23,000	14,000	3,200	1,600	13,200	3,100	6,500	20,133	男女の総額バランスが良く、価格差がほぼない
4	95,970	97,520	64,700	66,250	27,450	13,300	4,650	2,150	12,350	4,800	26,600	15,000	4,650	1,900	13,300	4,800	8,950	22,320	男女ともに総額が非常に高い。カバン高額(約9千円)
5	77,520	80,120	51,800	54,400	26,000	12,900	指定外	なし	12,900	指定外	22,800	15,800	指定外	なし	15,800	指定外	7,200	18,520	【最安値クラス】シャツやリボン等を指定外にして負担軽減
6	91,565	112,165	57,570	78,170	25,930	11,820	3,860	2,690	9,690	3,580	24,470	22,120	3,750	2,690	21,670	3,470	8,750	25,245	【最高値・男女差最大】女子スカートが2万円超えて非常に高額
7	83,920	88,070	56,750	60,900	23,900	11,800	3,400	2,200	11,200	4,250	21,400	14,400	3,300	2,000	13,600	6,200	5,600	21,570	通学カバンが全校(指定)で最安。女子夏シャツが高額
8	85,632	87,082	59,350	60,800	26,650	11,900	4,200	1,800	10,700	4,100	23,900	13,900	3,800	1,800	13,300	4,100	6,500	19,782	男女の総額バランスは比較的良好
9	86,570	85,770	56,500	55,700	25,600	11,100	3,500	1,800	10,100	4,400	22,800	13,100	3,400	なし	12,000	4,400	6,600	23,470	男子の方がやや高い。女子リボンなし
10	89,830	89,830	62,900	62,900	24,700	14,000	4,450	2,300	13,450	4,000	24,700	14,000	4,450	2,300	13,450	4,000	7,450	19,480	【男女同額】女子もネクタイ。手帳等なし
11	73,590	77,090	51,050	54,550	20,800	11,000	3,500	2,000	9,800	3,950	20,800	12,500	3,400	2,000	11,900	3,950	自由	22,540	【最安値クラス】カバン自由化の効果大
12	86,880	87,550	59,700	60,370	24,200	13,600	3,400	2,300	12,400	3,800	21,700	16,700	3,520	1,450	13,200	3,800	6,000	21,180	男女の総額バランスは比較的良好
13	87,550	89,700	57,350	59,500	23,850	12,600	3,500	2,000	11,600	3,800	20,700	15,600	3,000	1,900	14,500	3,800	7,900	22,300	ジャージ上下が全体で最高額(1万円超え)
14	75,110	89,110	45,900	59,900	18,800	9,500	2,800	1,700	8,600	4,500	16,800	17,600	2,500	1,700	16,800	4,500	7,450	21,760	女子もネクタイだが、スカートが高額で差が大きい
15	93,570	94,170	65,150	65,750	26,400	14,700	3,800	2,150	13,600	4,500	25,450	16,050	3,700	1,900	14,000	4,650	7,700	20,720	男女ともに総額が高い(制服単価高め)
16	85,320	85,320	60,100	60,100	25,000	13,300	4,800	なし	12,300	4,700	23,800	14,100	4,700	なし	12,900	4,600	7,200	18,020	【男女同額】手帳は生徒会費から支出
17	83,100	98,220	56,600	71,720	24,900	11,800	3,400	2,100	10,750	3,650	22,800	20,600	3,200	270	21,400	3,450	7,300	19,200	女子のスカートが2万円超えて男女差が大きい
※参考 神戸市			最安35000 最大41830	最安42500 最大49630	17000 19500	9500 12000	2550 3000	2300 3040	7500 7800	3650 4290	17000 19500	9500 12000	2550 3000	2300 3040	7500 7800	3650 4290			

1-4. 第1回学用品費等に係る保護者負担軽減検討会議の概要

☆ アンケート結果による現状の共有

☆ 課題事項や好事例の抽出

☆ 具体的な削減ポイント（議論）（実現のハードルが低く、効果が大きい順）

1. 通学カバンの自由化
2. カッターシャツ・ブラウスの市販品化
3. 細々とした「指定小物」の廃止
4. ジャージ・体操服の仕様・業者の見直し
5. 女子スカートの特殊デザインの廃止
6. 「リユース（おさがり）バンク」の市全体での仕組み化
7. 複数校での「標準服」導入によるスケールメリット
8. その他

1-4. 第1回学用品費等に係る保護者負担軽減検討会議の概要

☆ 論点や具体策に関する意見交換内容

1-3 課題及び好事例

- ・ 0円カウントしているものについても各自で購入しているため負担額は0ではない。
- ・ 鞆等の自由化はあるが、お金がかかっていない訳ではない。
- ・ 神戸の仕方、量産したら安くできる。
- ・ 制服はその学校への帰属意識や、生徒指導面で学校を見分ける役割もある。
- ・ リサイクル等もあるが、新入生が利用している話はあまり聞かない。

1-4 具体的な削減ポイント

- ・ 通学カバンは、市内統一でも良いのでは。（修学旅行等も指定の鞆を利用する学校が多い）
- ・ 制服について、神戸方式や市販のものを利用できるようにする方向も考えられる。
- ・ 制服があることのメリット、価値も考える必要がある。
- ・ 経済的にしんどい家庭でも制服なら一定の形が整う。
- ・ 自由服期間を設け検証してみることも必要ではないか。
- ・ 女子のスカートの特殊デザインは、スカートの変形を防ぐという生徒指導的要素もある。
- ・ 制服等を変更したての学校（武庫中・塚口中・日新中・園田中）もあるため、変更には時間がかかる。変更時期の検討が必要（最低でも3～5年）。
- ・ 制服製造業者や地域の制服業者さんとの関係性。現在の在庫の調整
- ・ 地域課が6地域あるため、地域課でリユースするなどできないか。

1-5. 今後の進め方

スケジュール案

済	①8月上旬～下旬	データ整理
	②9月4日	第1回学用品費等に係る保護者負担軽減検討会議
	③9月28日	総合教育会議
今後	④10月～12月	課題解決に向けた方策の調査及び検討
	⑤1月下旬	第2回学用品費等に係る保護者負担軽減検討会議
	⑥2月～3月	中学校向けに検討会議の内容を情報共有

学校徴収金に係る現状報告の目次

1 学校徴収金の現状の取組

- ① 学校徴収金の事務について
- ② 学校徴収金の事務の流れ
- ③ 教員が主に行っている業務

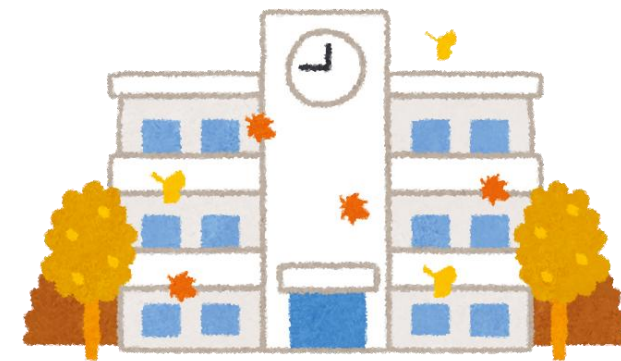
2 学校現場からの要望等

- ① 校長会からの要望について
- ② 学校との意見交換会について

3 国や近隣市、先進市の現状報告

- ① 国の動き
- ② 近隣市の動き
- ③ 先進市（東京都町田市、大阪府吹田市）の取組

4 今後の対応について



1 学校徴収金の現状の取組

① 学校徴収金の事務について

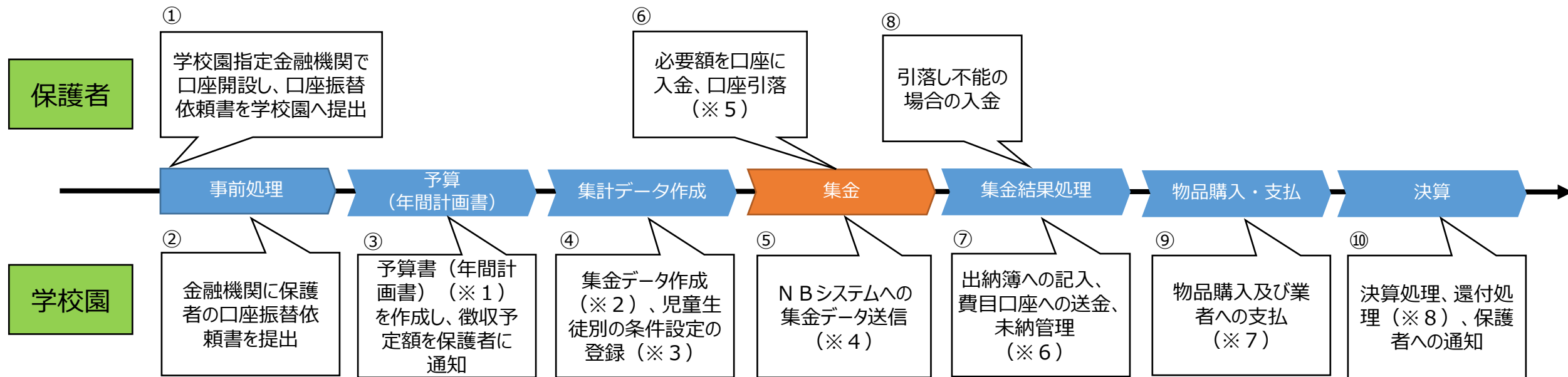
- 各学校園で授業で使用する学習ドリルや実習用品などの副教材の購入費のほか、修学旅行費等の積立金、校外活動費など、学校園の長が授業等使用する副教材等に係る経費を学校園が保護者から徴収している。なお、修学旅行代金等は、保護者から直接業者へ支払いしている学校もある。
- 徴収方法は、通常、保護者名義の口座から校園長名義等の口座にインターネットバンキングで引落とし等を行っている。
- 学校園により購入物品やその購入金額、支払い方法、さらには台帳管理、未納者への対策などの取り扱いが異なっている。



各学校長の裁量により、学校徴収金業務は実施されている。

1 学校徴収金の現状の取組

② 学校徴収金の事務の流れ



（※ 1） 使用教材等の選定、集金の金額や時期等を計画する。

（※ 2） インターネットバンキング上で保護者からの引落金額等を入力する。その方法は金融機関によって異なり、ネットバンキングシステムに個別の徴収予定金額等を直接入力するか、CSVフォーマットデータをダウンロードし、作成後ネットバンキングに戻している。2回目以降は、変更箇所のみ変更入力。

（※ 3） 児童生徒別の条件設定（就学援助受給世帯、P T A 会費はきょうだいがいる場合は下の子で徴収等）を登録する。

（※ 4） 口座引落は、学校園と金融機関の契約で処理日を決めている（徴収時期は、毎月、隔月、6月から6カ月間のみなど。）。

（※ 5） 口座引落に係る手数料は保護者負担。

（※ 6） 未納管理では、督促文の作成、再度集金処理等を行う。未納がある場合は、徴収できるまで継続することになる。

（※ 7） 業者への支払は、事前に金融機関に行き、現金を引き出し学校園で支払（業者が振込手数料を負担する場合は口座振込）。

（※ 8） 決算処理し、保護者に通知。保護者への還付があるときは、保護者口座に振込手数料分を差し引いて振込（手数料は保護者負担）。

1 学校徴収金の現状の取組

③ 教員が主に行っている業務

- 毎年度、新1年生の保護者が提出する口座振替依頼書の取りまとめ、内容点検及び取引金融機関への提出並びに児童生徒の名前、保護者の口座情報等のリスト作成作業（取引金融機関を変更した場合は、在校生全員の分を含む。）
 - ・保護者から提出される口座振替依頼書に不備が多く、金融機関からの差戻しによる金融機関と保護者との書類のやり取りに労力や時間を要する。
- 毎回の集金データ作成及び取引金融機関のネットバンキングシステムへの送信（引落し不能の場合は、その分の再度のデータ作成及び送信）並びに収納用口座から費目口座への送金（振替え）のためのネットバンキングシステムへの送信
- 出納簿の管理
 - ・エクセル等で常に情報を更新入力
- 業者へ支払
 - ・手数料負担の都合上、口座振込ができない場合は、金融機関に出向いて出金し、業者に現金支払。
- 未納者への支払要求⇒**負担が大きい**
 - ・文書、電話又は訪問による未納者への折衝等

2 学校現場からの要望等

① 校長会からの要望について（R8）

■小学校

【要望】

学校諸費の公会計化を進めてください。現在は、教職員が学校諸費の取り扱いを担っており、時間や心理的負担は大きいです。直近での対応が難しいようであれば、担当の市職員等の配置を要望します。

【教育委員会の回答】

学校徴収金に係る事務が教員の業務負担となっていることにつきましては、教育委員会としても十分認識しており、今後、国が示す「学校・教師が担う業務に係る3分類」を踏まえながら、先進市の公会計化や外部委託などのメリット・デメリットを小・中学校校長会の代表者と教育委員会との意見交換会において共有した中で、検討を進めてまいります。

一方、担当の市職員等の配置につきましては、新たな職域の市職員を投入することが根本的な課題解決になるとは考えづらく、また、制度見直しの時期を遅滞させる原因となること、制度見直し後の当該職員の処遇検討が必要になることなども踏まえ、現時点において市職員を配置することは考えておりません。

2 学校現場からの要望等

① 校長会からの要望について（R8）

■中学校

【要望】

学校徴収金に係る業務負担の軽減に向けた具体的施策

教員の働き方改革および労働環境改善の観点から、従来の「学校徴収金業務」の抜本的な見直しが必要です。公会計化への移行を視野に入れつつも、現場の負担軽減を最優先とするため、以下の2点について実効性のある代替案の検討を求めます。

㊦ 未納世帯への対応（法的スキームの構築）

教員による督促業務を削減するため、弁護士等の専門職を通じた督促文書の送付体制などを求めています。また、各種援助費等の差し押さえ手続きを含めた、実効性のある徴収システムの構築を要望します。

㊧ 会計処理業務の専門化（事務体制の強化）

公会計化への完全移行に要するコスト・期間を考慮し、代替案を提示します。

各校に会計処理を専門に行う事務員（会計年度職員を含む）を配置することで、低コストかつ即効性のある負担軽減策の検討を求めます。

2 学校現場からの要望等

① 校長会からの要望について（R8）

■中学校

【教育委員会の回答】

㊦ 学校徴収金の未納世帯への法的スキームの構築のうち、弁護士等の専門職を通じた督促文書の送付体制の構築につきましては、学校徴収金は私会計であり債権者が各学校であることから、現時点では教育委員会が主体となっていくことはできません。

学校徴収金に係る事務が教員の業務負担となっていることにつきましては、教育委員会としても十分認識しており、今後、国が示す「学校・教師が担う業務に係る3分類」を踏まえながら、先進市の公会計化や外部委託などのメリット・デメリットを小・中学校校長会の代表者と教育委員会との意見交換会において共有した中で、検討を進めてまいります。

㊧ 担当の市職員等の配置につきましては、新たな職域の市職員を投入することが根本的な課題解決になるとは考えづらく、また、制度見直しの時期を遅滞させる原因となること、制度見直し後の当該職員の処遇検討が必要になることなども踏まえ、現時点において市職員を配置することは考えておりません。

2 学校現場からの要望等

② 学校との意見交換会について

- 令和7年11月の小・中学校の校長会の代表者と教育委員会で、第1回学校徴収金事務に係る意見交換会を開催した。

【テーマ】

1 学校徴収金事務の課題事項

各学校が抱えている学校徴収金業務の課題事項について共有を図る。

2 国や近隣市の現状報告

現時点の公会計化の検討・導入状況の共有

令和8年度以降も引き続き、小・中学校の校長会の代表者と教育委員会で学校徴収金に係る業務の負担軽減について検討を進めていく。

3 国や近隣市、先進市の現状報告

① 国の動き

文部科学省通知①（令和7年4月30日付学校徴収金の公会計化等の取組の一層の推進について抜粋）

学校と教師の業務の3分類

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。
これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。

まず取り組めること・
取り組むべきことは何か、
話し合うことが大切です。



学校以外が担うべき業務

- 1 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
- 2 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
- 3 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
- 4 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
- 5 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

- 6 調査・統計等への回答 | 学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
- 7 学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理 | 学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
- 8 ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理 | 教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
- 9 学校プールや体育館等の施設・設備の管理 | 教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
- 10 校舎の開錠・施錠 | 副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
- 11 児童生徒の休み時間における安全への配慮 | 地域住民等の支援や、輪番等を促進
- 12 校内清掃 | 児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
- 13 部活動 | 部活動の地域展開・地域連携を推進

※ 専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

- 14 給食の時間における対応 | 食に関する指導については、栄養教諭等が対応
- 15 授業準備 | 教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
- 16 学習評価や成績処理 | 採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
- 17 学校行事の準備・運営 | 関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
- 18 進路指導の準備 | 就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
- 19 支援が必要な児童生徒・家庭への対応 | 専門スタッフとの協働等を促進

3 国や近隣市、先進市の現状報告

① 国の動き

文部科学省通知②（令和7年4月30日付学校徴収金の公会計化等の取組の一層の推進について抜粋）

学校徴収金の公会計化によって見込まれる効果について

文部科学省

学校徴収金の公会計化とは

学校徴収金を地方公共団体の会計に組み入れる「**公会計制度**」を採用すること。それに加えて、学校・教師の業務負担の軽減等の観点から、学校徴収金の徴収・管理を地方公共団体の業務として行うことも重要である。

見込まれる効果

① 学校・教師の業務負担の軽減

→督促業務等から解放されて子供に向き合う時間や授業改善の時間を確保でき、学校教育の質が向上する。

② 保護者の利便性の向上

→納付方法を多様化することができ、保護者の利便性が向上する。（クレジットカード、コンビニ払い等）

③ 徴収・管理業務の効率化

→一括したシステム管理や外部委託等により、財政面を含めた業務の効率化が見込まれる。

④ 透明性の向上、不正の防止

→経理面の管理・監督体制や監査の機能が充実する。

⑤ 公平性の確保

→効果的な徴収により、滞納が減少する。

3 国や近隣市、先進市の現状報告

② 近隣市の動き

市名	神戸市	姫路市	明石市	西宮市
令和7年10月時点 令和7年度 第2回兵庫県都市 教育長協議会資料 (要約引用)	学校徴収金については、公会計化していないが、「学校徴収金会計システム」等を導入することで、教職員の負担軽減を図っている。	学校徴収金の公会計化については、市職員の人員配置や弾力的な運用が困難であるため、慎重に研究を進めているところである。	学校徴収金について公会計化は行っていない。 また、現段階で今後の導入についての検討はしていない。	現在のところは公会計化の導入予定はない。 効果や学校現場のニーズ及び課題の把握・整理など、調査研究に取り組んでいる。
芦屋市	伊丹市	宝塚市	川西市	三田市
今後検討を行う必要があると認識しているが、現在のところは未定。他市の対応を参考にしたいと考えている。	学校徴収金の公会計化等については、現在は導入していない。現時点では、方向性を決めてはいないが、公会計化については、課題が多いと考えている。	現在のところ、公会計化の予定はない。 また、公費でのシステム導入についても予定はない。他市の対応を参考にしたいと考えている。	以下の2点の理由により、検討していない。 ① 公会計化には、システム改修や導入が必要となり、財政的な負担が懸念される。 ② 公会計化すると、管理が厳格化されることで、柔軟性が損なわれる可能性がある。	学校給食費のみを公会計化している。 教材費等の学校徴収金は、負担額を統一することができないため、公会計化が難しい。 今後は委託業者に依頼するかどうかなど、他市町の状況を聴取しながら検討する予定。

3 国や近隣市、先進市の現状報告

③ 先進市の取組（教育委員会の運用体制）

	東京都 町田市	大阪府 吹田市	兵庫県 尼崎市
小・中学校数 (R7.5.1時点児童数※)	小学校：39校 (19,991人) 中学校：20校 (9,769人)	小学校：35校 (21,156人) 中学校：18校 (9,226人)	小学校：41校 (19,422人) 中学校：19校 (9,288人)
教育委員会 学校徴収金担当職員数	6 名	8 名	3 名(他業務と兼務)
学校徴収金システムの有無	有	有	無
学校徴収金システム導入 初期費用	約 3 千万円	約 3 千万円	—
年間保守費用 (システム改修費用)	約 5 百万円	約 2 百万円 (約 5 百万円)	—

※令和 7 年度学校基本調査より引用

3 国や近隣市、先進市の現状報告

③ 先進市の取組（学校徴収金事務の運用体制）

	東京都 町田市	大阪府 吹田市	兵庫県 尼崎市
物品等購入計画策定	学校教諭	学校教諭・ 学校事務職員(府費)	学校教諭
学校徴収金システム への情報入力	学校事務職員 (都費)	学校事務職員 (府費・市費※ ¹)	—
会計処理事務	学校事務職員 (市費※ ²)	教育委員会	学校教諭
督促業務	教育委員会	教育委員会	学校教諭

※ 1 : スクールサポートスタッフを指す

※ 2 : 一部、会計任用職員

4 今後の対応について

■業務委託実績のある自治体への調査

外部へ業務委託の実績がある自治体に対し、業者の選定理由や委託による教育現場の変化等について調査を行う。

【和歌山県白浜町】

- ・令和8年度より株式会社POPERの「Comiru(コミル)」導入。
- ・保護者への納付通知や教材業者への支払い等、学校で行っていた業務を委託している。
- ・教員にとって大きな負担である未納者対応は、学校の協力の下で直接業者が対応を行う。
- ・運用上、保護者や学校において不明な点については、メールもしくは電話にて質問が可能。

4 今後の対応について

■ 公会計化している自治体への調査

- ・東京都 町田市（追跡） ・神奈川県 伊勢原市 ・岐阜県 下呂市

■ 公会計化を検討している自治体への調査

- ・大阪府 吹田市（追跡） ・大阪府 堺市

⇒現状では、教材費・校外学習費などを公会計化している自治体は全国的にも非常に少ない。

ポイント

学校徴収金に係る負担軽減の手法について先進市等の取組を研究し、学校現場の意見も踏まえながら検討を進めてまいります。